

平成 14 年度事業報告書

事業報告

自 平成 14 年 4 月 1 日

至 平成 15 年 3 月 31 日

【 】概 況

この一年わが国経済は、長期にわたる低迷で、依然として回復の兆しが見えず厳しい状況で推移しました。しかし一方ではライフスタイルの変化や高齢化社会の進展等社会状況の変化を背景に、「心の豊かさゆとり」ある生活を送る為に、様々なスポーツ活動を積極的に実践しようとする気運が高まっております。スポーツは益々身近なものになり、健康増進への欲求はさらに拡大するものと予想されます。

当財団は設立以来 24 年を経過し、本年度もその事業目的であるスポーツ科学の研究助成並びにオリンピック事業の推進、トップレベルの選手育成・強化を目的とした団体、また同時に国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与することを目的とした団体への助成を中心に活動を行うなど、関係者各位のご支援により所期の目的を達成することができました。

さらに、機関誌として「デサントスポーツ科学」Vol. 23 を刊行し前年度の事業成果を広く公表いたしました。

【 】研究及び助成報告

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

1) 研究委託 (200 万円)

理事会の諮問機関である学術委員会において慎重に審議した結果、平成 14 年度の学術研究課題として、以下が最もふさわしいものとし、理事会の承認を得て研究委託を行いました。

「被服による皮膚圧迫が体温調節反応に及ぼす影響」

研究リーダー

神戸女子大学

平田 耕造

2) 課題研究 (100 万円)

学術委員会・選考委員会選定テーマ「快適性の追求 - スポーツシーンにおける発汗後の不快さを最小限に留める方策 - 」についての調査・研究に対する助成で 4 件の応募がございましたが、審議の結果、該当者なしとし助成予定金額 100 万円は次期に繰り越しました。

3) 自由課題研究 (総額 940 万円)

体育学・健康科学・人間工学・被服科学・運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術及びその他広くスポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座をもつ大学、これに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ、及び高校生から幼児までの教育機関に奉職しており、前述した分野で研究または調査活動を行っている個人またはグループに対し公募いたしました結果、142 件にのぼる応募の中から当財団学術委員会選考委員によりまして慎重かつ厳正に審査を行ない、次の 23 件に決定、理事会の承認を得て研究助成を行ないました。

最優秀入選 (100 万円)

「陸上競技長距離走者の競技成績とミトコンドリア DNA の遺伝子多型との関連性 - ATP8 / 6, Cytochrome b 遺伝子および D - Loop の SNPs - 」

名古屋大学 武安 岳史

優秀入選 (各 50 万円)

「筋温上昇による熱ショックタンパク質発現と筋損傷・筋肉痛の予防効果」

横浜市立大学 野坂 和則

「空力特性に基づいたスキージャンプ飛行の最適化」

山形大学 瀬尾 和哉

「筋肉のふるえを利用した持久性運動中の疲労回復のコツ」

鹿屋体育大学 田巻 弘之

「脊髄損傷者にとっての効果的な運動時身体冷却法に関する研究」

広島大学 山崎 昌廣

「肥満者の動脈硬化予防に対する運動トレーニングの新たな意義に関する検討」

東京医科大学 高波 嘉一

「加速度計測による高齢者歩行の安定性評価と転倒予防に関する研究」

東北大学 猪岡 光

入選 (各 40 万円)

「音楽が超最大運動での performance 及び血中物質に及ぼす影響」

国立療養所中部病院
長寿医療研究センター 山本 貴子

「高齢者の大脳皮質活動水準 - 集中維持機能 (TAF) の変容と運動の影響一般高齢者と長期運動実施者との比較」

筑波大学 芳賀 脩光

「運動トレーニングが若年女性の熱放散反応に及ぼす影響」

大阪国際女子短期大学 小倉 幸雄

「中高年齢者の噛みしめ強度の違いによる血圧，脳血流量応答」

國學院大学栃木短期大学 石山 育朗

「イメージ・トレーニングの認知的メカニズムに関する基礎的研究」

北海道大学 菱谷 晋介

「大脳運動関連領域野における脳血流・ヘモダイナミクス筋出力との関係」

名古屋大学 秋間 広

佳作入選（各 30 万円）

「短期間の間欠的低酸素暴露が持久的鍛練者の呼吸循環系に及ぼす影響」

名古屋大学 片山 敬章

「腕運動によって脂肪は燃焼するか？ - 運動時間と強度からみた腕運動中の代謝特性 - 」

九州芸術工科大学 村木 里志

「運動の日常化と虚血再灌流酸化ストレス傷害の予防」

京都府立医科大学 青井 涉

「運動前の身体加温は運動時の骨格筋損傷を抑制するか否か - 熱ショック蛋白質 70 (HSP70) の発現からの検討 - 」

日本医科大学 三上 俊夫

「中高年女性における軽重量負荷シューズ着用によるウォーキングの運動効果について」

東京学芸大学 宮崎 義憲

「現代社会における若年スポーツ選手の貧困な食生活の是正と練習効果向上のための疲労の軽減を目的とした食事介入の効果判定」

辻学園栄養専門学校

中央研究室 広田 孝子

「急性運動の強度が動脈血栓形成能に及ぼす影響」

神戸商科大学 鷗木 秀夫

「球技系スポーツ選手のための血中乳酸カーブテスト法の開発と持久的トレーニングへの応用」

奈良教育大学 若吉 浩二

「スイムキャップの素材が水泳時の体温調節反応に及ぼす影響」

別府溝部学園短期大学 松波 勝

「虚弱高齢者の自立生活に必要な身体機能水準の設定」

福岡県立大学 石原 一成

以上、研究委託 1 件、自由課題研究 23 件の研究成果報告につきましては、平成 15 年 6 月発行予定の機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.24 において広くわが国の研究機関、関係者に公表いたします。

(2)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100 万円）

諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、日本体力医学会国際交流基金への助成を行いました。

(3)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（500 万円）

オリンピック事業の推進ならびにトップレベルの選手育成・強化を目的とし財団法人日本オリンピック委員会に、また、国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与することを目的として財団法人日本体育協会にそれぞれ 250 万円の助成を行いました。

【 】活動報告

(1)機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.23 発行

平成 14 年 6 月

(2)第 24 回定時総会及び助成金目録贈呈式

日時：平成 14 年 6 月 6 日（木）

11:30～12:00 理事会・評議員会

12:00～12:30 助成金目録贈呈式

12:30～13:30 懇親会

場所：株式会社 デサント 東京オフィス

議題：平成 13 年度事業報告書承認の件

平成 13 年度収支決算書承認の件

その他

(3)第 11 回課題学術研究 第 24 回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究

助成金交付 平成 14 年 7 月 10 日

(4)日本体力医学会国際交流基金への寄附金支出

平成 14 年 8 月 9 日

(5)第 12 回課題学術研究及び第 25 回自由課題学術研究公募開始

平成 14 年 9 月 1 日

(6)第 11 回課題学術研究、第 24 回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究
成果報告書提出締切

平成 14 年 11 月 25 日

(7)第 12 回課題学術研究及び第 25 回自由課題学術研究公募締切

平成 14 年 11 月 11 日

(8)第 12 回課題学術研究及び第 25 回自由課題学術研究公募申請書審査

平成 14 年 11 月 11 日～平成 15 年 2 月 10 日

(9)財団法人日本オリンピック委員会ならびに財団法人日本体育協会への寄附金交付

平成 14 年 12 月 25 日

(10)学術委員会・選考委員会

日時： 平成 15 年 2 月 28 日（金） 12:00～14:30

場所： 株式会社 デサント 東京オフィス

議題： 第 25 回自由課題学術研究委託テーマ選定の件

第 12 回課題学術研究公募審査の件

第 25 回自由課題学術研究公募審査の件

第 13 回課題学術研究テーマ選定の件

その他

(11)理事会・評議員会

日時： 平成 15 年 3 月 25 日（火） 10:00～11:00

場所： 株式会社 デサント 大阪オフィス

議題： 平成 15 年度事業計画書案承認の件

平成 15 年度収支予算書案承認の件

その他

以 上

平成 14 年度収支決算書

収 支 計 算 書

平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
収 入 の 部				
1. 基本財産運用収入	(16,400,000)	(17,396,457)	(△996,457)	
基本財産利息収入	16,400,000	17,396,457	△ 996,457	
基本財産配当金収入	0	0	0	
2. 雑 収 入	(20,000)	(13,776)	(6,224)	
受 取 利 息	20,000	5,376	14,624	
雑 収 入	0	8,400	△ 8,400	
3. 寄 付 金 収 入	(15,000,000)	(15,000,000)	(0)	
寄付金収入	15,000,000	15,000,000	0	
4. 特定預金取崩収入	(10,000,000)	(12,000,000)	(△2,000,000)	
助成金積立預金取崩	10,000,000	12,000,000	△ 2,000,000	
当期収入合計	41,420,000	44,410,233	△ 2,990,233	
前期繰越収支差額	2,797,003	13,796,483	△ 10,999,480	
収 入 合 計	44,217,003	58,206,716	△ 13,989,713	
支 出 の 部				
1. 事 業 費	(27,900,000)	(26,587,290)	(1,312,710)	
(1) 課題研究費	0	0	0	
(2) 委託研究費	2,000,000	2,000,000	0	
(3) 助成金支出	9,400,000	9,400,000	0	
(4) 寄附金支出	6,000,000	6,000,000	0	
(5) 資料収集調査費	2,000,000	1,575,000	425,000	
(6) 印刷製本費	8,500,000	7,612,290	887,710	
2. 管 理 費	(4,240,000)	(3,318,616)	(921,384)	
(1) 給与手当	1,040,000	994,441	45,559	
(2) 会議費	1,500,000	1,378,065	121,935	
(3) 旅費交通費	1,200,000	798,000	402,000	
(4) 通信運搬費	100,000	58,140	41,860	
(5) 消耗品費	100,000	0	100,000	
(6) 印刷製本費	100,000	0	100,000	
(7) 雑 費	200,000	89,970	110,030	
3. 特定預金支出	(10,000,000)	(23,000,000)	(△13,000,000)	
助成金積立預金	10,000,000	23,000,000	△ 13,000,000	
4. 予 備 費	(500,000)	(0)	(500,000)	
当期支出合計	42,640,000	52,905,906	△ 10,265,906	
当期収支差額	△ 1,220,000	△ 8,495,673	7,275,673	
次期繰越収支差額	1,577,003	5,300,810	△ 3,723,807	

正味財産増減計算書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
増 加 の 部			
1.資産増加額			
助成金積立預金	23,000,000	23,000,000	
増 加 額 合 計			23,000,000
減 少 の 部			
1.資産減少額			
当期収支差額	8,495,673		
助成金積立預金取崩	12,000,000	20,495,673	
減 少 額 合 計			20,495,673
当期正味財産増加額			2,504,327
前期繰越正味財産額			621,933,633
期末正味財産合計額			624,437,960

貸借対照表

平成 15 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
1.流動資産		
普通預金	5,300,810	
流動資産合計		5,300,810
2.固 定 資 産		
(1)基 本 財 産		
定期預金	572,877	
投資有価証券	575,564,273	
基本財産合計	576,137,150	
(2)その他の固定資産		
記念事業積立預金	10,000,000	
助成金積立預金	33,000,000	
その他の固定資産合計	43,000,000	
固定資産合計		619,137,150
資 産 合 計		624,437,960
負 債 の 部		
正味財産の部		
正味財産		624,437,960
(うち基本金)		576,137,150
(うち当期正味財産増加額)		2,504,327
負債及び正味財産合計		624,437,960

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

投資有価証券 …… 総平均法による原価法を採用している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金（基本財産となるもの及び特定預金を除く）及び未収金・未払金など短期債権・債務を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は 3. に記載のとおりである。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	100,572,877	0	100,000,000	572,877
投資有価証券	475,564,273	100,000,000	0	575,564,273
合計(基本金)	576,137,150	100,000,000	100,000,000	576,137,150

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	8,846,483	5,300,810
未収金	4,950,000	0
合計	13,796,483	5,300,810

財 産 目 録

平成 14 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
1.流動資産		
現金	0	
普通預金 三井住友銀行船場支店	5,300,810	
普通預金 北国銀行大阪支店	0	
流動資産合計		5,300,810
2.固定資産		
(1)基本財産		
定期預金 三井住友銀行船場支店	572,877	
投資有価証券		
1-円建コ-ポ-ル債	100,000,000	
国債(北国銀行)	100,000,000	
東京湾横断道路債	299,427,123	
株式会社デザート株式(1,522,743株)	76,137,150	
基本財産合計	576,137,150	
(2)その他の固定資産		
記念事業積立預金		
三井住友銀行船場支店	10,000,000	
助成金積立預金		
三井住友銀行船場支店	33,000,000	
その他の固定資産合計	43,000,000	
固定資産合計		619,137,150
資産合計		624,437,960
負 債 の 部		
1.流動負債		
負債合計		0
正味財産		624,437,960